1月の水谷公民館

６日(水)子育てサロン親子フレンドパーク
20日(水)子育てサロンステップアップ講座
毎週水曜日　パソコン相談室（６日休）

2月の水谷公民館

３日(水)子育てサロン親子フレンドパーク
６日(土)里山ボランティア
８日(月)おひとりさまサロン百の会
10日(水)介護予防講座回想サロン
毎週水曜日　パソコン相談室

水谷公民館だより

編　集　水谷公民館だより編集委員会
発　行　富士見市立水谷公民館　富士見市水谷１-13-6
TEL049(251)1129　FAX049(255)9886　✉fkm-mi@coral.ocn.ne.jp

水谷の埋蔵文化財

③平安時代編―東台遺跡―

平安時代中頃、藤原良房が政治の中枢に台頭してくると摂関政治の始まりです。貴族たちは寝殿造りの屋敷に住み、雅な文化が展開した時代でした。しかし当時の庶民の生活についてはほとんど触れられていません。

時代は少しさかのぼりますが、奈良時代の万葉集にある山上憶良の貧窮問答歌で庶民の生活を垣間見ることができます。「父母は枕の方に　妻子どもは足の方に　囲み居て　憂へさまよひ　竈には　火気吹きたてず　甑には　くもの巣かきて…」竪穴住居に住んでいたこのような情景が、水谷の東台遺跡でも見られたのでしょうか。

文献の調査や地方の遺跡の発掘調査などにより、中央の貴族の生活を支えていた地方の民の暮らしが、もっとわかる様になればいいですね。

担当　佐々木編集委員

古墳時代・奈良時代

古墳時代に入ると、水谷地域には弥生時代のような大きなムラはなくなります。

柳瀬川の対岸に位置する志木市の城山遺跡では竪穴住居跡が２００軒以上も見つかっているのに対して、水谷地域では１から３軒が各所に点在する程度まで減少してしまいます。

この時代の遺跡としては、氷川前遺跡、観音前遺跡、別所遺跡、北通遺跡などがあげられます。

奈良時代になっても、この傾向は続きます。

別所遺跡の古墳時代 土師器　（水子貝塚資料館提供）

平安時代 ―市内最大の集落、東台遺跡―

平安時代の9世紀後半に、みずたに幼稚園から北側に広がる台地上に忽然と大きなムラが成立します。東台遺跡です。

近年、市街化区域に編入されたこともあり、宅地造成などの開発などが進んでいる地域で、それに伴う発掘調査が急増しています。

これまでの調査で、9世紀後半の竪穴住居跡が80軒以上も見つかっています。まだ遺跡の半分以上が未発掘なので、それをふまえると１５０軒以上の竪穴住居跡が存在する可能性があります。

市内や近隣市町の同時期の遺跡で発見されている竪穴住居跡は10軒程度なので、それらと比較するといかにその規模が突出しているのかがわかります。

古墳時代後期から竪穴住居跡の平面形は方形となり、壁際にカマドが設けられるようになります。

東台遺跡の竪穴住居跡は、一辺が４メートル前後で床面積は約13平方メートル、６畳ほどの広さです。カマドは粘土で構築され、外に煙が出るようになっています。この住居で何人が生活していたのかわかりませんが、６畳一間、風呂・トイレ無しのちょっと昔の木造アパートを思い出します。

10世紀には住居は平地式の壁立ち建物にかわるため、竪穴住居は姿を消しますが、それにしても縄文時代から平安時代まで約1万年もの間、人々が竪穴住居で生活していたとは驚きです。よほど日本の風土に合致していたのでしょうか。それとも、壁をつくる建築技術が普及しなかったためなのでしょうか。

いずれにしても歴史的にみれば壁のある建物が普通になったのはつい最近のことだとわかります。竪穴住居以外にも倉庫と考えられる方形に規則的に配置された柱穴がいくつも見つかっています。

東台遺跡の平安時代 竪穴住居跡　（水子貝塚資料館提供）

東台遺跡の灰釉陶器　（水子貝塚資料館提供）

東台遺跡からは、食器として使用した須恵器の碗や煮炊きに使用した土師器の甕がたくさん出土しています。須恵器は入間市にある東金子窯跡で製作されたものがほとんどですが、9世紀の終わりに生産が終了すると、地元で製作したものが使用されるようになります。

また、愛知県で生産された灰釉陶器の皿なども出土しており、当時の物資流通の一端を垣間見ることができます。さらに、鎌や刀子なども出土しており、鉄製品が普及していたことがわかります。

東台遺跡の位置する台地の縁には、いわゆる鎌倉道が通っています。この道がいつからあるのか、正確な年代はわかりませんが、東台遺跡の成立の背景には、こうした道の存在もあったのかもしれません。いずれにしても、富士見市周辺地域の政治、経済の中心地、要衝のムラであったことは間違いないようです。

東台遺跡の平安時代 須恵器　（水子貝塚資料館提供）